

1 派遣団員となった思いや、広島を訪れることへの抱負など。

私は学校の代表、そして栃木市の代表として広島へ派遣されることをとても誇らしく思います。

今回の派遣では、原子爆弾の恐ろしさや戦争などの悲惨さを学ぶと共に、平和の尊さを学んできたいと思っています。学ぶことも大切ですが、今回は他校の生徒も一緒に活動するので楽しみたいです。

そして、実際に行かないとわからないこともあると思うので、しっかりメモをとって報告会では、すばらしい報告ができるようにがんばりたいと思います。被爆された方の講話も聴くことができるので、貴重な体験になると思います。

私は今回の派遣で、戦争の悲惨さや平和の尊さを心で感じてたくさん学びたいと思っています。

2 広島平和記念資料館（平和記念公園）を見学して学んだことや考えたこと。

私は、広島平和記念資料館に入った瞬間、言葉を失いました。原爆が投下された8月6日にタイムスリップしたかのように、写真や展示物が、胸につき刺さりました。資料の1つ1つには、人々の悲しみや苦しみ、そして怒りが込められているのです。

私が一番印象に残ったのは、被害にあった方の実際の写真です。目をそむけたくないような恐ろしい写真もありました。人間とは思えないほど、変わり果てた姿、「助けて」と声が聞こえてくるような気がしました。

私は、資料館を見学して、原爆の恐ろしさを心と体で感じました。たった1発の原爆により、罪もないたくさんの人々の命を奪ったのです。今、私達に出来ることは、核兵器のない平和な世界を実現することだと思います。

3 広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式に参加して学んだことや考えたこと。

広島市原爆死没者慰霊式に出席し、内閣総理大臣等の方々の言葉を聞いて、どれだけ平和を願っているのかという思いが胸に響きました。

そしてこども代表の2人の平和への誓いを聞き「平和は、わたし達自らがつくりだすものです」という言葉のもと自分の力でできる限りの事をして、自分でつくりだしていきたいなと思いました。

広島市長による平和宣言の中では被爆による差別の話がありました。被爆しているから差別を受けるという事はとても悲しいし、自分たち人間はこんなに醜くなるのだと知りました。

4 全校生徒で作成した千羽鶴を捧げてきて感じたことや考えたこと。

私達が千羽鶴を捧げてきた原爆の子の像の近くには、他にもたくさんの折鶴が奉納されていました。若くして原爆による病を発症し、闘病中に願いを託して鶴を折り続けた佐々木禎子さん。そして原爆によって亡くなった全ての人々への祈りが、捧げられた全ての鶴に込められているのだと思います。全校生徒で鶴を折った時に、全員が

強く平和への思いを込めていたとは、正直思えませんが、一人一人が少しでも「思いが届くと良いな。」と思えていれば、完成した千羽鶴にはものすごく強い気持ちがこもっていたはずです。そうしてでき、捧げられたたくさんの千羽鶴は、きっと禎子さん達に届いています。鶴に込められた平和への思いと共に。

5 被爆体験講話を聞いて学んだことや考えたこと。

被爆体験講話は、17歳のときに爆心地から2.5km離れたところで被爆された田川康介先生が話してくださいました。田川先生はあまりにも強い光に驚いて目を手でおおったそうです。わたしはそれを聞いて、広島出発前に聞いた「太陽が落ちてきたのかと思った。」という被爆者の方の話を思い出しました。それを聞いただけでも原爆のおそろしさが伝わってきました。田川先生は「68年たった今でも放射能の影響が残っている。」と話されていました。放射能という目に見えない物質のこわさを感じました。田川先生は講話の中で何度も「戦争はいけない。」と繰り返し話されました。「将来は歴史の教科書に少ししかのらないかもしれない。」と田川先生は心配されていました。そういうことに決してならないよう私達次の世代が伝えていかなければならないと強く思いました。

【それぞれの感想】

・私は今回の広島派遣でたくさんのことを学ぶ事ができ、とてもよい体験ができたと思います。

そして、普通では、体験できないような平和記念式典への参加や被爆体験講話も聞くことができたのでよかったです。

この3日間で学んだことを次の世代に伝えていきたいと思いました。

・私は、広島を訪れて、原爆の恐ろしさを知りました。町はほとんどが破壊され、多くの人々の命を奪い、生き残った人も、心と体に大きな傷を受け、今も苦しんでいる人がいます。

私が、絶対許せないことは、「被爆者」というだけで差別することです。一番悪いのは、「戦争」なのです。戦争がない平和な世界をつくりたいです。

・僕が広島を訪れて、今後の生活に生かしていきたい事は感謝です。

今、こうして平和に暮らせている事、帰れる家がある事全部まとめて今の世の中に感謝したいです。

そして、この思いは、自分の行いで周りの人達にもつなげられるように、どんどん伝えていきたいと思います。

・広島に行って、そこでしか見られない物、そこでしか感じられないことなど、本当にたくさんのことを学びました。特に大きかったのが、日常の大切さです。今この瞬

間、この一秒に、何かしらの感情を持った自分が存在している。それがどれだけ幸せなことか、しっかりと感じながら、日々の生活を送っていきたいと思います。

・ 3 日間の学習の中で私は戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識しました。資料館では原爆のおそろしさとその被害に驚き、鳥肌がたつほどでした。広島を自分の目で見て感じたことは、私の戦争や平和について考える貴重な体験となりました。自分のできることを考え、同時に周囲の多くの人々に自分の経験したことを伝えていきたいです。

以上